

日本学術会議 言語・文学委員会
古典文化と言語分科会（第24期・第4回）議事要旨

開催日時 平成31年3月28日(水)15:00～17:30

場所 日本学術会議5-A(2)会議室

出席者：安藤宏、小倉孝誠、木田章義、桑川麻里生、倉員正江、佐藤利行、
高橋宏幸、田邊玲子【スカイプ参加】、西村賀子、三宅晶子、山田俊治、
渡部泰明

欠席者：大芝芳弘、川合康三、久木田直江

【議事内容】

●前回議事録の確認・承認

●研究発表

※「新学習指導要領の問題点」渡部泰明委員

「高等学校学習指導要領(平成30年告示) 国語編」解説を基礎資料として、主な改訂点とそれに伴う問題点についての指摘と考察があった。

※「新学習指導要領の問題点」安藤宏委員

前回の発表「高等学校国語教科書(現代文)の現状と課題」後の動向を紹介し、新テストを含めた問題点についての指摘と考察があった。

●二人の発表内容を踏まえ、国語教育の将来に関する討議を行った。

●「新学習指導要領と国語教育」をテーマとしたシンポジウム開催について、パネリストの人選を含め検討した。他の分科会・委員会との協働の可能性を探ることとなった。開催日時は各委員の都合と高等学校教員の参加しやすい日程を考慮して、今後決定することとなった。

以上